

仕事で必要なことは フローチャートで学んだ

株式会社スターロジック

代表取締役兼CEO

羽生 章洋

自己紹介

- 羽生 章洋(はぶ あきひろ)と申します。
 - 昭和43年生まれの今年38歳です。
 - 受託電算業務の伝票打ちから始めました。
 - プログラマ～システムエンジニアを経てコンサルタントをやってきました。
 - 様々な業種・業務に関わってきました。
 - 今はスターロジックという会社の経営をやっています。
 - Seasarファウンデーションという団体の理事もやっています。
- 今日のお話にご興味を持たれた方は、お気軽にご連絡くださいませ。
 - <http://www.starlogic.jp/>
 - habu@starlogic.jp
 - <http://d.hatena.ne.jp/habuakihiro/>(はぶにつき)

社会人になって 最初に私が訓練されたこと

- それが「フローチャートを書く」ということ
 - 通勤の仕方とか
 - 自動販売機とか
 - それからプログラミングのコード
 - アルゴリズムとか
 - フローチャートの段階でレビュー・・・ぼこぼこに
- フローチャートを元にコードをコーディングシートに書く
 - コーディングシートの段階でもレビュー・・・ピリオドのつけ忘れとか
- ようやくマシンに向かってコードを打ち込む
- 重要なことは「教育の手順があったこと」

フローチャートの肝

- 開始と終了はいいとして
- 処理と・・・
- 分岐と・・・
- 定義済み処理
⇒モジュール！
- 矢印重要！
- それ以外はいらん！
 - 最小限の道具を完璧に使いこなす！

忘れちゃいけないメモリマップ

- ある範囲で使う変数を書き出すもの
- データ構造を表現する
 - ERDやリソースにつながる・・・が今日は割愛

フローチャートは2次元！

- 時系列はフローだからいいとして・・・
- 実はツリー構造を内包している

フローチャートを描くときのポイント

- 入り口と出口はひとつにする！
 - 分岐は必ずメインストリームに戻ってくる
- 各処理はINとOUTを明確に意識する
- だらだら長く書かない
 - モジュール化！
- 分岐や繰り返しのネストを深くしない
 - モジュール化！！
- はじめ・メイン・終わりのパターンで書いていく
 - モジュール化！！！！

分岐！！

- 分岐重要！超重要！！死ぬほど重要！
- 2分岐！
 - 分岐＝論理＝集合
 - 3分岐を2分岐で表現すると？
- 接続も分岐！
 - 「XXXが終わったら」YYYを行う

フローチャートの応用

- 業務フロー
 - BPMNとかうんちゃらとかいうけどさ
 - 画面遷移だって業務フローだよ
 - ユースケースシナリオだって(ry
 - ステートチャート
 - ペトリネットね
 - 問題構造分析
 - 因果には時系列がある:逆転はしない
 - ロジカルシンキング
 - MECEは段階的詳細化だし、
ロジックツリーは帰納・演繹ともにフローだし
 - 原稿書きとか議論とかでもフロー使うよね。
 - ネットの議論とか尚更(w
 - マインドマップ
 - ツリー構造だし、フィッシュボーンだよ
- などなど...

フローチャートに中心はない

- 最上位のモジュールは全体を示す = 集合
 - 段階的に内訳を表現していく
- 分岐先がそれぞれ排他的な集合になるように考えるのが普通

今日のオチ

- 最小限の道具を徹底的に使いこなすこと
- フローチャートは2次元だ！
- 抽象化能力を極限まで高めるには
フローチャート程度がちょうど良い

ありがとう
ございました